

Belcea Quartet



©Marco Borggreve

モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart

弦楽四重奏曲第23番 へ長調「プロシヤ王第3番」 K. 590

String Quartet No. 23 in F Major, "Prussian No. 3", K. 590

ショスタコーヴィチ Dmitri Shostakovich

弦楽四重奏曲第14番嬰へ長調 op. 142

String Quartet No. 14 in F-sharp Major, op. 142

ブラームス Johannes Brahms

弦楽四重奏曲第1番ハ短調 op. 51-1

String Quartet No. 1 in C Minor, op. 51, No. 1

 紀尾井ホール

全席指定

S席 7,500円

料金 A席 5,000円

U29 A席 2,000円

ペアS席 14,000円(2席)

※U29は公演日当日に29歳以下の方を対象とする割引料金です。(枚数制限あり。)

【チケット発売日・お取り扱い】

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>

新型コロナウイルス感染拡大防止措置の観点から、発売日、販売範囲の変更が生じる可能性があるため、最新情報を上記ウェブサイトでご開しております。



【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

チケットご購入条件として右記QRコードより内容をご確認ください。



※料金は税込です。本紙掲載の料金のほか、発売時に所定の手数料がかかります。
手数料はお支払方法により異なります。

※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。

※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

弦
楽
四
重
奏
団

ベ
ル
チ
ヤ

クアルテットの饗宴2021

2021
6/22
火 19時開演

圧巻のアンサンブル力と自由な音楽解釈で、つねに新鮮な演奏を生み出しているベルチャ弦楽四重奏団。前回、2019年の紀尾井ホール公演は全席完売となっただけでなく、後日テレビでも放送され、多くの人々が、世界最高峰のカルテットのひとつであることを、あらためて知ったコンサートとなりました。

2年ぶりとなる今回のプログラムは、モーツァルトの弦楽四重奏曲の中でも名高い「プロシャ王セット」から、彼の最後のカルテット作品にして、優雅さを満喫できる第23番。ショスタコーヴィチ晩年の作で、激情と敬虔な祈りが交差する第14番。そして交響曲第1番と同様に、長年にわたり推敲を重ね、古典派の様式美とロマン派音楽を見事に融合させたブラームスの弦楽四重奏曲第1番という実力を誇る彼らならではのパワフルなセットです。

カルテットの王道を行く内容ながら、多面的な観点から作品の新たな魅力を放つ演奏にご期待ください。



【ベルチャ弦楽四重奏団】 Belcea Quartet

“この音楽を駆り立てている衝動は、自由への憧れや、自分自身の限界を広げて真実を得ることなど、抑えきれない欲望の中に存在する”。ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全集の録音に際し、そのライナーノーツにベルチャ弦楽四重奏団は自身の音楽哲学をこのように語っている。

伝統的なことに捉われず、様々な文化的背景に裏打ちされたダイナミックで自由な音楽解釈を持つベルチャ弦楽四重奏団は、1994年、ルーマニアのコリーナ・ベルチャ(ヴァイオリン)、ポーランドのクシシュトフ・ホジェルスキー(ヴィオラ)、その他2人の創設者と共に英国王立音楽大学で結成された。このそれぞれ母国が異なる4人のアンサンブルは、歴史あるカルテットのアルバン・ベルク四重奏団やアマデウス四重奏団に師事する。その後、フランスのアクセル・シャハー(ヴァイオリン)とアントワヌ・レデルラン(チェロ)が加わり、多様な影響を共通の音楽言語へ調和させていった。この多様性がベルチャ四重奏団の幅広いレパートリーを可能にしており、弦楽四重奏曲の全曲録音では、バルトーク、ベートーヴェン、ブリテンのほか、ブラームスのアルバムがディアパゾン・ドール賞を受賞した。一方で数多くの現代作品の初演も行っており、自身の創設した財団との共同委嘱で、ジョゼフ・フィブス、クシシュトフ・ペンデレツキ、トーマス・ラルヒヤ、マーク=アントニー・タネジ等の初演を行っている。弦楽四重奏のレパートリーを継続的に拡充するとともに、若手演奏家を指導しサポートすることで、受け継がれた伝統と培ってきた経験を次世代へと繋いでいくことを目標とし

ている。

また、ベルク、デュティユー、モーツァルト、シェーンベルク、シューベルトの録音をリリースしている。2018年にはピョートル・アンドルシェフスキとの「ショスタコーヴィチ:ピアノ五重奏曲&弦楽四重奏曲第3番」を、2019年に「ヤナーチェク、リグティ:弦楽四重奏曲」をリリースし、いずれも絶賛を博す。

2012年にウィーン・コンツェルトハウスで開催した〈ベートーヴェン:弦楽四重奏曲全曲演奏会〉は、フランスのMezzo TVで放送され、2014年にはユーロアーツ・レーベルより、ドキュメンタリー「ベートーヴェン弦楽四重奏曲への道筋(Looking for Beethoven)」と共にDVD & Blu-rayとしてリリースされ、日本においても、クラシカ・ジャパンで完全放送された。ベートーヴェン・イヤーの2019/20シーズンには、ウィグモア・ホール、ベルリンのピエール・ブーレーズ・ザール、香港大学、シャンゼリゼ劇場に登場した。

2017/18シーズンよりピエール・ブーレーズ・ザールのアーティスト・イン・レジデンスを務めるほか、2010年からはアルテミス弦楽四重奏団と共にウィーン・コンツェルトハウスのレジデンス・アンサンブルとして活躍している。

2020/21シーズンは、チューリッヒ・トーンハレ、ベルリン・フィルハーモニー、パレ・デ・ボザール、ムジークヘボウ・アアン・ヘット・アイ等へ登場するほか、ハンブルク・エルプフィルハーモニーでのツィクルスが予定されている。

コリーナ・ベルチャ(ヴァイオリン):1755年製 ジョヴァンニ・バティスタ・ガダニーニ (MERITO弦楽器信託より貸与)

Corina Belcea, violin

アクセル・シャハー(ヴァイオリン):1824年製 ニコラ・リュポ

Axel Schacher, violin

クシシュトフ・ホジェルスキー(ヴィオラ):1670年頃製 ニコラ・アマティ

Krzysztof Chorzelski, viola

アントワヌ・レデルラン(チェロ):1722年製 マッテオ・ゴフリラー (MERITO弦楽器信託より貸与)

Antoine Lederlin, cello

日本製鉄文化財団 紀尾井ホールでは、皆さまからのご支援をお待ちしております。
<紀尾井サポートシステム(寄附会員制度)>はこちら →



● 紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員(五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略)

- 《特別協賛会員》 A.ランゲ&ゾーネ/日鉄ソリューションズ/三菱商事/三菱地所
 - 《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほかに匿名2社
 - 《ひびき会員》 オカムラ/きらぼし銀行/高砂熱学工業/竹中工務店/山下設計
 - 《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新號/赤坂 エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エーケーディ/NTTドコモ/存原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武プロパティーズ/大成建設/千代田商事/テイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/バナソニック/富士ゼロックス/松尾楽器商会/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージジョン/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/有軌
 - 《あおい会員》 青木陽介/飯沼万里子/石崎智代/磯部治生/井上善雄/植竹浩樹/大武和夫/小島 徹/片山能輔/久保祐子/倉吉遼介/栗山信子/近藤貴子/佐久間庸行/佐部いづ子/志立正嗣/清水 正/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謙吾/田中 進/外山雄三/鳥居壯太/中塚一雄/中西達郎/西村勉美/原田清朗/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松原 良/松本美恵/箕輪永世/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/山内寿実/横地卓哉/吉峯裕毅
- ほか匿名22名 計204口(2021年2月1日現在)



〔最寄駅〕●四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線)麩町口ほか 徒歩6分 ●麩町駅2番出口(有楽町線)徒歩8分
 ●赤坂見附駅D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分 ●永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線)徒歩8分

紀尾井ホール 公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代)
 紀尾井ホール ホームページ <https://kioihall.jp>